



宮司ブレス 七十八号

彦島八幡宮 宮司 ニュース

発行者 彦島八幡宮

宮司 柴田 宜夫

発行 平成二十四年十一月二十一日

◇宮司の柴田です。

秋風が、颯颯(さっさつ)として、関門の秋も深まりゆく昨今、神橋(しんばし)を渡ると目に入る、楓(かえで)も、ようやく紅が濃く色づきはじめました。

◇先日の十七日(土)より十九日(月)まで、実家に帰省しました。それは、熊本県宇城市(うきし)豊野町(とよのまち)に鎮座(ちんざ)する小熊野神社、私の実家でありますが、その神社の例祭を奉仕するためです。

宮司である父と禰宜(ねぎ)である兄と親子三人で御奉仕が叶い、喜びも一入(ひとしお)でありました。特に、例祭日の十八日は、早朝より三方(さんぼう)、お供え物をのせる台(たい)に、炊き出しの御飯にお酒、さらには大根、人参、里芋それぞれ、ぶつ切りにしたものを三切れづつ、炒子(いりこ)、小さな雑魚を炒って干したものを、そして、塩と水をお供えしたものを十二台、調(ととの)えましました。これを神饌(しんせん)弁備(べんび)といひます。早速、御神前にお供えを済ませると、前日が雨であった為に、拝殿前の清掃

が出来なかつたので、ひたすら、掃除にあけ

くれました。午前十時半からの祭典は正午までかかりました。小熊野神社には、古くから伝わる神楽舞(かぐらまい)がありまして、一年に一度、例祭日に御神前に奉納します。私も小学校五年生から、最初は舞人(まいびと)、次に「ジャガラン」という打楽器

そして太鼓と一通りマスターしました。今は、兄が太鼓、兄の長男がジャガラン、兄の次男が舞人と引き継がれています。

母や義姉は、神事の後の直会(なおらい)の準備をしたりと慌ただしく、実家の例祭は、一家総動員であります。左の写真が、小熊野神社です。



◇「五風十雨(ごふうじゅうう)」という言葉

葉(か)みなさん、御存知でしたか。五日に一度風が吹き、十日に一度雨が降る、風雨その時を得て、農作上好都合であるという事です。

「五風十雨」であれば、稲も穀物も豊作であり、天下太平なことでもあります。「二十世紀に石油をめぐり衝突したように、二十一世紀は、水資源をめぐる国家間の衝突が起りうる」、この発言は、九月上旬にロシアのウラジオストクで、アジア太平洋経済協力会議の首脳会議が開かれた際、ベトナムのチュオン・タン・サン国家主席から発せられた警告です。そもそも地球上の水は、九十七・四七パーセントが海水で、淡水は、二・五三パーセント、その淡水も大部分が氷河などに閉じ込められていて、利用できるのは、わずかに〇・八パーセントです。ほんの「一滴」

なのです。水の需要と消費はこの五十年間で三倍に膨(ふく)らんだようで、その要因は、世界人口の急激な増加に伴い、生活用水はもとより、食糧の増産に大量の水が費やされることにあるそうです。国連は、世界の約七十億人のうち七億人が水不足の状況におかれていて、今世紀半ばまでに最大六十カ国七十億人、少なくとも四十八か国二十億人が水不足に陥(おちい)ると予測しています。チュオン・タン・サン国家主席の発言も、誇張(こちよう)では決してないのですね。

◇このような状況下の中での、この「五風十雨」、かけがえのない大切な言葉ではないでしょうか。世界では、ほんの「一滴」の水

も、この日本は、豊かで潤っていますよね。目には見えないけれども、大自然の恵み、神の御加護が、広大無辺（こうだいむへん）である事を痛感させられます。

◇来月は、衆議院選挙ですよね。「第三極」の動向が、注目されています。実は、地理用語で「第三極」と言えば、北極・南極、そして、世界最高峰のエベレストの事だそうですね。十九世紀のアメリカの牧師であったJクラークは、「政治家は次の時代を考えるが、政治家は次の選挙を考える」と述べました。国内総生産（GDP）のプラス成長が望めない時代、人間として精神面での豊かさに価値を見出し、国民全体の幸福度である国民総幸福量（GNH）を向上させてくれる政治家が選ばれることを期待しています。

◇「他人と過去は変えられないが、自分と未来は変えられる」という言葉があります。厳しい時代ですが、あれが悪いこれが悪いと人や社会を責める気持ちを捨てて、当たり前  
の事や身の周りに起こるすべてに感謝の心を持って過ごしたいものです。感謝の心を忘れない、このことが、神の道へとつながります。そのことが自分を变えていく過程でもあります。山  
の最高峰である「第三極」に至る道  
のりでもあります。心がけたいものですね。御自愛を心から、お祈り申し上げます。

◇十月の祭典行事報告

- ▼月次祭 \*十月一日、十五日
- ▼六連島八幡宮例祭 \*十月四日～五日
- ▼田の首八幡宮例祭 \*十月十三日～十四日
- ▼明神社例祭、舞子島八幡宮例祭 \*十月十五日
- ▼神宮神嘗祭奉祝祭 \*十月十七日
- ▼朝粥会 \*十月十八日
- ※倫理法人会のモーニングセミナーも兼ね開催
- ▼秋季例大祭 \*十月二十日～二十一日
- ▼西山小三年生参拝 \*十月二十六日
- ▼彦島八幡宮杯ソフトボール大会
- ◇十一月の祭典行事報告ならびに予定
- ▼月次祭 \*十一月一日、十五日
- ▼龍宮神社例祭 \*十一月三日
- ▼明治祭 \*十一月三日
- ▼彦島第二保育園園児参拝 \*十一月六日
- ▼福浦金刀比羅宮月次祭 \*十一月十日
- ▼福浦金刀比羅宮注連縄おろし \*十一月十八日
- ▼朝粥会 \*十一月二十一日
- ※倫理法人会のモーニングセミナーも兼ねて開催
- ▼彦島八幡宮新嘗祭 \*十一月二十三日
- ▼六連島八幡宮新嘗祭 \*十一月二十四日
- ◇十一月の宮司の行事会議等活動報告ならびに予定
- ▼八幡宮関係団体
- ◇維蘇志会役員会 \*十一月八日
- ◇敬神婦人会役員会 \*十一月九日
- ◇彦島八幡宮杯ソフトボール大会反省会

\*十一月十二日

- ◇敬神婦人会研修旅行 \*十一月二十五日
- ▼山口県神社庁、同下関支部関係
- ◇下関支部総代敬婦合同研修会 \*十一月六日
- ◇支部三役会 \*十一月二十八日
- ◇神政連山口県本部街頭遊説 \*十一月二十八日
- ◇支部幹事会 \*十一月二十九日
- ▼西ロータリークラブ
- ◇例会 \*十一月七日、十四日、二十八日
- ▼人権擁護委員活動
- ◇心配ごと相談（彦島公民館）\*十一月一日
- ◇米子人権擁護委員協議会との交流会 \*十一月七日
- ▼講演活動
- ◇神社庁阿萩支部阿北分会にて  
講話  
\*十一月九日
- ◇下関商工会議所定例常議員会にて講演  
\*十一月二十二日
- ▼倫理法人会モーニングセミナー  
\*十一月二十一日、二十二日、二十九日
- ▼リバース彦島例会 \*十一月二日
- ▼教誨活動（美祢社会復帰促進センター）  
◇集合教誨（女子） \*十一月十二日  
◇集合教誨（男子） \*十一月二十六日
- ▼下関消防団彦島分団第六部訓練  
\*十一月十一日、二十六日
- ▼迫町自治会役員会 \*十一月十四日